

## 第3回電気絶縁材料シンポジウム開催にあたり

電気材料技術委員会委員長 中谷 宏

絶縁材料に関する問題点、研究成果などについて、このテーマに関心の深い人々が一堂に会して、互いに情報を交換し、この分野の研究活動を活発にし、あるいは研究と実用とを結びつけ、また、連合大会などの枠内では十分な討論がないので、この欠点を補つて充分討論できるようにすることなどを電気絶縁材料シンポジウムの目的として、昭和43年に第1回をはじめから、ここに第3回を開催することになりました。前年の第2回と同様に今回も前回参加者からのアンケートを参考にして計画をたてました。前回のアンケートについては次のような結果を得ております。

参加者263名、アンケート回収数167、回収率63.5%で、このような企画を次の年にしたら参加したいと思いませんかという問いに対し、96%が参加を希望され、開催日については86%が秋を希望されています。講演日数については、2日あるいは2日以上希望が95%もあつたことは、このシンポジウムに対する期待ならびに激励と考えられ、主催者として大変嬉しく、また心強く思いますが、会場や第一線で活躍されている多忙な実行委員の方々の都合もあり、従来通りとなりました。これについては再検討することになりましょう。講演時間については、討論を含めて30分とする意見が55%、専門委員会技術報告については、毎年報告してほしいとの希望が74%もありました。シンポジウムのテーマ設定については、これを希望するもの79%であり、今回の選定テーマもアンケートを参考にして設定されたものであります。

電気設備、電気機器などの性能向上、信頼性向上さらに高周波化といった要求に関連して、絶縁材料の基礎ならびに応用の学問はますますその重要性を増しつつあります。したがって冒頭にのべた目的にかなつたシンポ

ジウムになり、材料技術の創造と発展につながる知見を得る場となるように、参加の方々の活発な討議を期待致します。

なお、このシンポジウムの企画に当たられた次の実行委員の方々、特別講演に種々御配慮を賜わった大阪大学犬石嘉雄教授ならびにシンポジウム開催について積極的に御協力下さった方々に厚く謝意を表する次第であります。

実行委員長：西崎純夫（東芝）、委員：伊藤宇一（電子総研）、家田正之（名古屋大）、岡本英夫（電力中研）、金指元憲（電子総研）、河野照哉（東京大）、田中祀捷（電力中研）、中島達二（電子総研）、能登文敏（秋田大）、矢作吉之助（早稲田大）、依田文吉（日立電線）、吉岡 浩（東芝）